<参考資料>
オーク・ロッジ・スクール(イギリスのろう学校)の手話教育について

協議会委員(神奈川工科大学)　　小川　喜道

イギリス手話(British Sign Language: BSL)

2 つの柱で教育が行われている。

(1) イギリス手話の学習(BSL Studies)

(2) **ろうスタディ(Deaf Studies)**(ろうの価値、ろう文化、ろうコミュニティ、ろう団体、BSL の歴史とスキル)

Deaf Studies の達成目標(カリキュラム: 6 つの核となる構成要素)

① **ろうのアイデンティティ**
前向きな自己イメージの確立、ろう者としての自己覚知のセンスをもつこと

② **コミュニケーション**
聴覚の障害をもつ人のコミュニケーションの多様性を知ること

③ **コミュニケーション技術**
コミュニケーション機器に必要なスキルを知り、学ぶこと

④ **ろうコミュニティとろう文化**
ろうコミュニティとイギリス、ヨーロッパ、国際的なろう文化について学ぶこと

⑤ **ろう者の歴史**
著名なろう者やろう者のイベントを知り、今日と過去のろう者の生活の間の共通性と際について探ること

⑥ **社会変革**
ろう者の社会的地位が、長い年月をかけていかに変化してきたかを認識すること

<<<<<小川メモ>>>>>

かつて、イギリスのろう学校を訪ねたことがあります。そこはロンドン郊外にある日本でいう中学・高校にあたるろう学校。移民の生徒も多く、社会的(経済的)な問題をもっている家庭もありました。
社会参加に積極的なイベント、学習内容を組み込んでいて、近くの老人ホームに尋ねて一緒に創作活動をしたり、私のような来客がくるとみんなで接客してくださり、お昼のランチも一緒に筆談などでお話しながらごちそうになりました。

Oak Lodge School: http://www.oaklodge.wandsworth.sch.uk/